

シンガポール長編アニメーション初の快挙！
『The Violinist』が第50回アヌシー国際アニメーション映画祭長編部門
公式コンペティションに選出
—戦争に引き裂かれた二人の音楽家の、時を超えた約束の物語。

このたび、株式会社スローネが製作・制作に参画する長編アニメーション映画『The Violinist』（監督:Ervin Han、Raúl Garcia）が、世界最大規模のアニメーション映画祭として知られる第50回アヌシー国際アニメーション映画祭（2026年6月21日～6月27日、フランス・アヌシー）長編部門に正式選出を果たしました。

本作のエグゼクティブプロデューサーを務める当社代表の結城崇史は、以下のコメントを寄せております。

「HAN監督との初めての出会いは2006年でした。そして約20年の時を経て、この長い友情の結実の一つとして本作が誕生したことに深い感慨と喜びを覚えています。」

また、本作の快挙にあたり、監督のErvin Han氏より以下のコメントが寄せられています。「『The Violinist』は、私の記憶、歴史、そして音楽への長年の探求を礎に、人生がいかにかに時の流れによって形づくられていくのかを描いた作品です。本作をアヌシーという世界的な舞台で発表できることを、この上ない光栄に思います。そして、本作を支えてくださったすべてのパートナーの皆様、特に結城崇史氏ならびに株式会社スローネのチームに、心より深く感謝申し上げます。」

■ 作品概要

第二次世界大戦下のシンガポールおよびマレー半島を舞台に、本作は二人の若きヴァイオリニスト、カイとフェイの運命を描きます。音楽への情熱と未来への夢を共有していた二人でしたが、戦争はその人生を大きく分断し、それぞれが全く異なる時代と現実を生きることとなります。しかし、どれほどの歳月と距離が隔てようとも、彼らの胸にはたった一つの約束が残り続けていました—
いつか再び出会い、二人でヴァイオリンのソナタを奏でるという約束が。
長い年月を経て紡がれるこの物語は、失われた青春と記憶、そして時代を越えて響き続ける音楽の力を描き出します。

■ クレジット

作品名: The Violinist / 監督: Ervin Han、Raúl Garcia

脚本: Ervin Han、Jordan Katherine See / 音楽: Ricky Ho、Isabel Latorre

キャスト: Kheng Hua Tan、Kazuya Tanabe、Adrian Pang、Ayden Sng、Fang Rong Foo

■ 株式会社スローネ 会社概要

株式会社スローネは、映画・テレビ・アニメーションを中心とした映像コンテンツの企画・製作・制作を行う東京拠点のクリエイティブカンパニーです。国際共同製作を強みとし、アジアおよび欧州をはじめとする海外パートナーと連携しながら、グローバル市場に向けた作品開発・制作を推進しています。また、社内には国内外に経験豊かなVFXチームを有し、大規模映像制作におけるVFX、最先端のデジタル技術を活用したプロジェクトにも積極的に取り組み、文化や言語の枠を越えて世界に届くストーリーテリングの創出を目指しています。

以上

株式会社スローネ <https://throne.asia>

